

バイオマス飼料を有効活用した稚アワビと稚ウニの生育を促す技術の開発

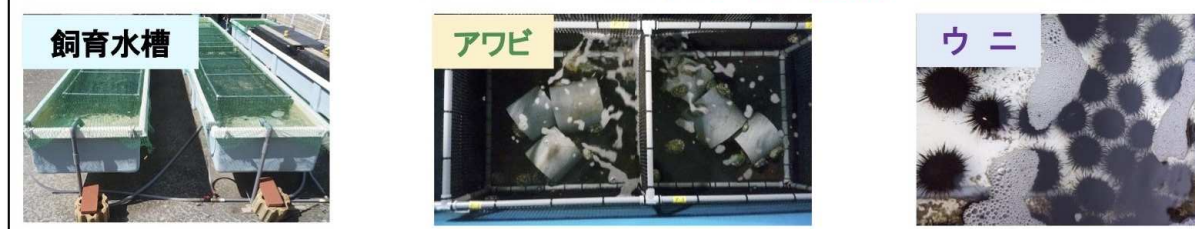
元正栄 北日本水産株式会社 + 北里大学海洋生命科学部

近年、海水温の上昇や磯焼け域の拡大などの影響により、アワビやウニ等の漁獲量は激減している。このような状況下、魚介類の生産力を強化するためには、飼料を与えて蓄養・養殖する事業を推進する必要がある。そのためには、対象種の生育や品質を促す栄養価が高く安価な飼料を開発し、その有効活用法を検証する必要がある。そこで、当社は北里大学海洋生命科学部と連携して、食品加工後に生じる未利用資源を配合したバイオマス飼料の稚アワビや稚ウニの生育に及ぼす効果を検証し、有効活用するための技術開発を進めている。

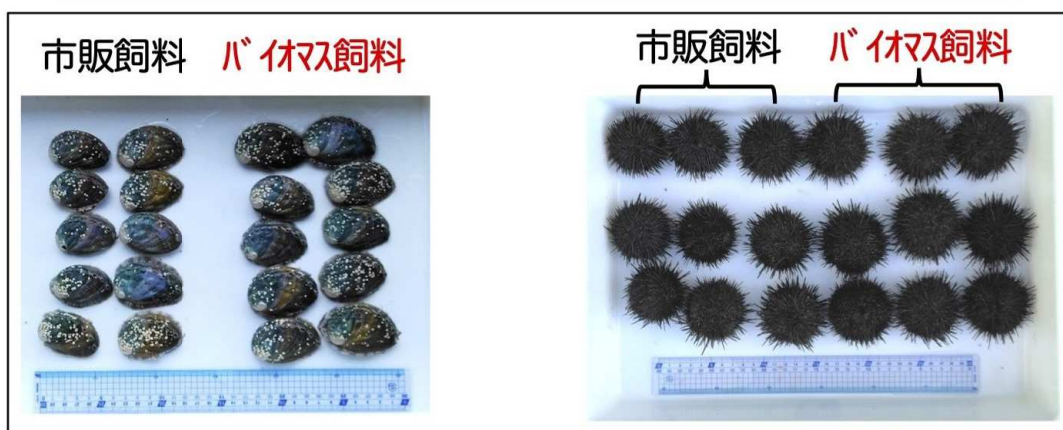
未利用資源の一次加工とバイオマス飼料



アワビとウニの生育に及ぼすバイオマス飼料の効果の検証



バイオマス飼料を与えたアワビとウニの生育



- ・ 未利用資源の栄養価と機能性に基づいて選定した素材を配合したバイオマス飼料は、市販飼料と同等に、稚アワビと稚ウニの生育を促す！
- ・ 未利用資源の集荷・一次加工およびバイオマス飼料の量産化体制を構築することにより、本飼料をアワビとウニの生産力を強化する養殖事業に活用できる！

冷水性魚介類の生産力を強化する蓄養・養殖を展開